



息を合わせ、懸命にオールをこぐ選手ら

毎年恒例となった賑わいイベント

手作りいかだで熱いレース

8月3日(日)、於古川でシ・オンいかだレースが開催されました。いかだ部門・ゴムボート部門に分かれ、300～400mのコースを4人1組で、息を合わせてゴールを目指しました。県内外から全45チームが出場し、ユニークなデザインの手作りいかだは見た目でも観客を魅了しました。

他にも、マグロの解体ショー、のど自慢大会、お笑い芸人コントショーなどがあり、夜遅くまで会場は盛り上がりを見せました。

海外でたくさん学び、経験を積んでいきます

中高生14人が海外派遣へ出発

今年も海外派遣事業が計画され、オーストラリアのブリスベン市に、志賀町の中高生14人が派遣されました。7月25日(金)の出発式では、生徒代表の青山由佳さん(志賀中3年)が「志賀町の代表として、たくさん学び経験を積んでいきます」と挨拶。同中3年の日高まき子さんは「関係者の方々や家族に感謝の気持ちを忘れず、有意義な時間を過ごしたい」と話しました。見送る家族と握手を交わし、別れを惜しみながらも元気に出発。10日後、様々な経験を積み、学んできた14人は、無事に帰宅しました。



出発の前に、家族との別れを惜しむ生徒ら

女性太鼓、華やかに力強く

女性太鼓大会、志賀勢が大関に

8月3日(日)、「第2回県下女性太鼓打競技加茂大会」が加茂高齢者センターで行われ、女性ならではの美しさと、男性にも負けない力強い太鼓演奏で来場者を魅了しました。地元のほか、穴水、輪島、七尾、氷見から中学生以上の部に26組、小学生の部に45組が参加。加茂太鼓倶楽部や前年度大関の披露太鼓もありました。

▼大人の部 大関 高嶋 由紀美・名山 智子(志賀・大念寺八幡太鼓) 関脇 竹原 茜・前田 裕子(氷見有磯太鼓保存会) 小結 木下 奈知・小山 いずみ(鶴浦豊年太鼓)

▼子どもの部 大関 中川 朋香・越後 奈津子(志賀疾風志童) 関脇 泉 祭・天井 里咲(加茂太鼓倶楽部) 小結 尾崎 瑠華・濱岸 凜夏(輪島キリコ太鼓絆)



大関の中川・越後組(子供の部)と高嶋・名山組(大人の部)



穴田前教育長が寄付 町の教育振興のために

7月22日(火)、穴田前教育長が、志賀町役場を訪れ、小泉町長に寄付金100万円を手渡しました。

穴田前教育長は、「4年6カ月の間、教育長という立場で志賀町にお世話になりました。教育・学校振興のために少しでもお手伝いがしたい」という思いを伝えました。

小泉町長は、「前教育長の思いにできるだけ応えるよう、大切に使用させていただきます」と寄付金を受け取りました。

寄付金は、主に統合小学校建設に役立てていく予定です。



寄付金を手渡す穴田前教育長

山形弁でユーモラスな人権啓発講演会 世界中の人が分かる日本語を

7月30日(水)、志賀町文化ホールで、タレントのダニエル・カールさんによる人権啓発講演会が開催されました。約350人の聴衆に、日本人と外国人の言葉や考え方の違いについて、山形弁を交えてユーモラスに分かりやすく話しました。日本語は、婉曲的な表現によって柔らかく優しく伝えようとしますが、外国人には気持ちが伝わらず、誤解を受けたりすることがあるため、言葉を使って率直に相手に思いを伝えることが大切だと呼びかけました。会場では、終始笑いが絶えず、外国人に対する人権について理解を深める講演会となりました。



山形弁トークを交え、笑いも盛りだくさんの講演会

大島海水浴場で地引網体験 西能登の里浜地引網合戦

能登半島震災復興支援事業として、大島海水浴場で地引網体験が行われました。このイベントは2回行われ、8月13日(水)には、いこいの村能登半島に宿泊していた観光客も参加。小鯛やキスなどが多く、捕れた魚はキャンプ場で素揚げし、地元産の能登スイカと併せて振舞われました。

群馬県から訪れていた小学6年生の児童は、「魚を網から外したり、裁いたり、初めての体験で楽しかった。揚げたての魚は熱々で、プリプリしていて美味しい」と小鯛の素揚げを家族と一緒に美味しく食べていました。



多くの観光客が集まり、地引網体験に参加した



キリコや神輿は神社を出発し、太鼓や鐘の音と共に練り歩く

豊漁と海の安全を願って 西海祭り、大学生の助っ人も参加

女性がキリコを担ぐことで有名な西海祭り。今年は、能登半島震災復興支援事業として体験ツアーが行われました。学生団体・能登ラボが窓口となり、金大、金沢工大、北陸大の学生26人が参加しました。男性8人は黒いベスト、女性18人は浴衣にエプロンと腰巻き姿でキリコを担ぎ、威勢よく練り歩きました。能登ラボ代表の古田智信さん(金沢工大2年)は、「祭りは予想以上に激しく、酔ったようなフワフワした感覚になった。自由自在にキリコを操る地元の方はすごい」と祭りの熱気と興奮を話しました。



大念寺獅子舞



輪踊り

～受け継がれる伝統芸能～

第25回 西能登やっちや祭り



二所宮獅子舞



西能登やっちや祭りが、7月27日(日)、芝木総合公園で開催されました。今年度は、平成17年9月の合併以来、初の伝統芸能ステージ。地元8団体による獅子舞や太鼓などが披露され、志賀町の魅力を発信しました。出演者は古くから受け継いだ伝統芸能を生き生きと披露し、観客を魅了しました。途中、天気が心配されましたが、何とか雨も止み、野外ステージは続行。石川県元気応援隊・ジャンピンと、ポップステュオカスが歌謡ステージに出演し、歌声を会場中に響かせました。祭りのクライマックスでは、花火が夏の夜空を彩りました。



賑わうテント市



あかりちゃん登場



高浜小学校 鼓笛隊



土田子供太鼓



矢駄獅子舞



富来領家町
曳山木遣保存会



富木八幡太鼓保存会



美声を会場中に響かせるカズン



Jumpin'の元気あふれるステージ



消防署体験コーナー



自衛隊体験コーナー

福井県高浜町 姉妹都市交流

～学童野球で、共に汗を流す～

8月2日(土)、姉妹都市提携する福井県高浜町と学童野球による姉妹都市交流を行いました。志賀町野球場で開催された交流試合では、若狭和田マリナーズの児童16人が志賀学童野球クラブと2試合対戦。1勝1敗と白熱した試合を展開しました。平成2年に姉妹都市提携の調印をした高浜町とは毎年、スポーツ、文化、郷土芸能など幅広い分野で交流しています。



志賀町野球場で握手を交わす児童ら



若狭和田マリナーズ⑤と志賀学童野球クラブ⑥



食生活改善推進員 田中 益美さん

なすは、和食にも洋食にも活躍する万能野菜。はりつやがよく、がくの部分についてとげが鋭いものを選ぶのがポイント。炒め物、煮物など、様々な料理に使えます。

【材料・4人分】

- 長なす 2本
- 豚バラ薄切り肉 16枚
- ねぎ 1本
- しょうゆ 大さじ3
- 酒 大さじ3
- 砂糖 大さじ1
- 酢 大さじ1
- 大葉 8枚
- みょうが 2個

◆作り方

- ①長なすは、半分に切り、縦に4等分する。ラップをかけ1～2分加熱する。ねぎは、細かく刻む。みょうがは千切り。
- ②①の長なすに豚肉をらせん状に巻いていく。
- ③フライパンを熱し、②の巻き終わりを下にして並べ中火で焼く。時々返しながら、全体に焼き色がつき火が通ったら、しょうゆ、酒、砂糖の合わせたものを回し入れる。
- ④ねぎを入れ全体にタレがからんだら、しばらく冷まして味をなじませる。器に盛り、大葉とみょうがを添えて酢をお好みでかける。



今月のレシピ

揚げずにヘルシー

長なすの肉まき

373kcal
塩分 2.1g
【1人分】



針金や糊を使わず、加熱もしない製本技術「エコプレス」を採用しています。